

令和5年1月5日 公告

夢洲F護岸波除堤整備工事（その1-3）

特記仕様書、図面、明細書及び積算基準関係資料の一部に記載誤りがありました。下記正誤表をご確認ください。

訂正箇所	誤	正
特記仕様書 6. 共通仮設費 1) 汚濁防止対策	対策方法： <u>汚濁防止膜</u>	対策方法： <u>汚濁防止枠</u>
図面 鋼管矢板・鋼管杭製作図(1)	リブプレート詳細図： <u>記載なし</u> リブプレート数量表： <u>記載なし</u>	リブプレート詳細図： <u>図の追加</u> 数量表： <u>PL-200×600×15</u> <u>枚数：18枚、重量：169.56kg</u>
図面 鋼管矢板・鋼管杭製作図(1)	吊り金具数量表： <u>1本当り質量：17kg/枚</u> <u>重量：374kg</u>	吊り金具数量表： <u>1枚当り質量：24kg/枚</u> <u>重量：528kg</u>
図面 鋼管矢板・鋼管杭製作図(1)	数量表： <u>1本当り質量(kg/本)(kg/枚)</u>	数量表： <u>1本(枚)当り質量(kg/本)(kg/枚)</u>
図面 鋼管矢板・鋼管杭製作図(2)	リブプレート数量表： <u>記載なし</u>	数量表： <u>PL-200×600×15</u> <u>枚数：30枚、重量：423.90kg</u>
図面 鋼管矢板・鋼管杭製作図(2)	数量表： <u>1本当り質量(kg/本)(kg/枚)</u>	数量表： <u>1本(枚)当り質量(kg/本)(kg/枚)</u>
図面 鋼管矢板・鋼管杭製作図(3)	数量表： <u>1本当り質量(kg/本)(kg/枚)</u>	数量表： <u>1本(枚)当り質量(kg/本)(kg/枚)</u>
積算基準関係書類 第20号代価表 拘束費 形状寸法：	名称：浚渫船団拘束費 形状寸法： <u>バックホウ浚渫船</u> 、土運船、引船	名称：浚渫船団拘束費 形状寸法： <u>グラブ浚渫船</u> 、土運船、引船



## 特記仕様書

### 4. 付属工

1) 電気防食の条件は、次表によるものとする。

海水比抵抗値		35 ( $\Omega \cdot \text{cm}$ )
電気防食密度	海水中部	0.130 (A/m <sup>2</sup> )
	石積部	0.065 (A/m <sup>2</sup> )
	海底土中部	0.026 (A/m <sup>2</sup> )
耐用年数		50 年

2) アルミニウム合金陽極の製作取付に先立ち、陽極の規格及び数量計算書・耐用年数計算書・配置図・取付要領並びに仕様書等を提出し、監督職員の承諾を得ること。

### 5. 仮設工

1) 支保については、作業船（クレーン付台船等）を使用した海上施工とする。

### 6. 共通仮設費

1) 汚濁防止対策

汚濁防止対策として、床掘時には原則として、次表のとおり対策を行うこと。

	対策方法	カーテン長
床掘	汚濁防止膜	8m以上（平均水底面）

2) 安全費

(1) 本工事において、海上作業中は安全監視船1隻以上を配置して付近の航行船舶に注意を喚起し、事故防止に努めること。なお、安全監視船の配置にあたっては、「港則法関係書類作成の手引き（阪神港大阪区、堺泉北区）」（監修・大阪海上保安監部航行安全課）による「海上における工事作業の警戒船の配備に関する基準（概要）」を参考にすること。

(2) 安全監視船の乗組員については、船長1名及び専従警戒要員1名を乗船させること。なお、専従警戒要員は一定の経験を有し、かつ警戒業務に必要な技能を習得するための各種講習を受けた者とする。

(3) 鶴浜での土砂の処分にかかる作業中は、出入口に交通誘導員1名を常時配置して、安全対策に万全を期すこと。配置場所は、監督職員と協議すること。

3) 磁気物体調査

本工事における床掘・障害物調査及び障害物撤去の施工に先立ち、調査範囲（別紙図面参照）について、簡易探査機を使用して入念に磁気物体調査（潜水調査）を行うこと。なお、調査範囲については監督職員の承諾を得ること。調査範囲については、床掘の法肩から20mとし、水深測量の結果により決定すること。水深測量の結果、探査深度が磁気探査機の有効深度（4m）を超える場合については経層探査を行うこと。本工事施工前の水深測量の結果により調査範囲の変更が生じた場合は、設計変更の対象とする。また、揚収物の処理については監督職員と協議すること。

4. 付属工

1) 電気防食の条件は、次表によるものとする。

海水比抵抗値		35(Ω・cm)
電気防食密度	海水中部	0.130(A/m <sup>2</sup> )
	石積部	0.065(A/m <sup>2</sup> )
	海底土中部	0.026(A/m <sup>2</sup> )
耐用年数		50年

2) アルミニウム合金陽極の製作取付に先立ち、陽極の規格及び数量計算書・耐用年数計算書・配置図・取付要領並びに仕様書等を提出し、監督職員の承諾を得ること。

5. 仮設工

1) 支保については、作業船（クレーン付台船等）を使用した海上施工とする。

6. 共通仮設費

1) 汚濁防止対策

汚濁防止対策として、床掘時には原則として、次表のとおり対策を行うこと。

	対策方法	カーテン長
床掘	汚濁防止枠	8m以上（平均水底面）

2) 安全費

(1) 本工事において、海上作業中は安全監視船1隻以上を配置して付近の航行船舶に注意を喚起し、事故防止に努めること。なお、安全監視船の配置にあたっては、「港則法関係書類作成の手引き（阪神港大阪区、堺泉北区）」（監修・大阪海上保安監部航行安全課）による「海上における工事作業の警戒船の配備に関する基準（概要）」を参考にすること。

(2) 安全監視船の乗組員については、船長1名及び専従警戒要員1名を乗船させること。なお、専従警戒要員は一定の経験を有し、かつ警戒業務に必要な技能を習得するための各種講習を受けた者とする。

(3) 鶴浜での土砂の処分にかかる作業中は、出入口に交通誘導員1名を常時配置して、安全対策に万全を期すこと。配置場所は、監督職員と協議すること。

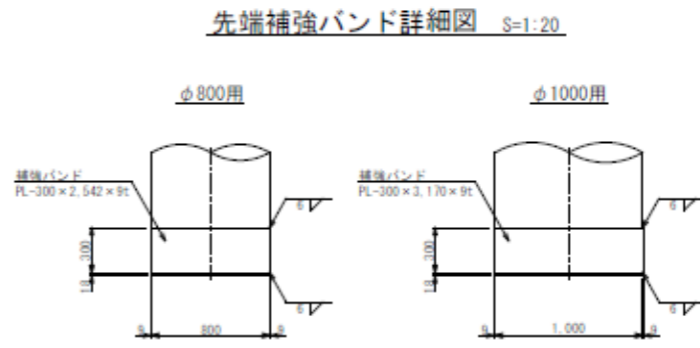
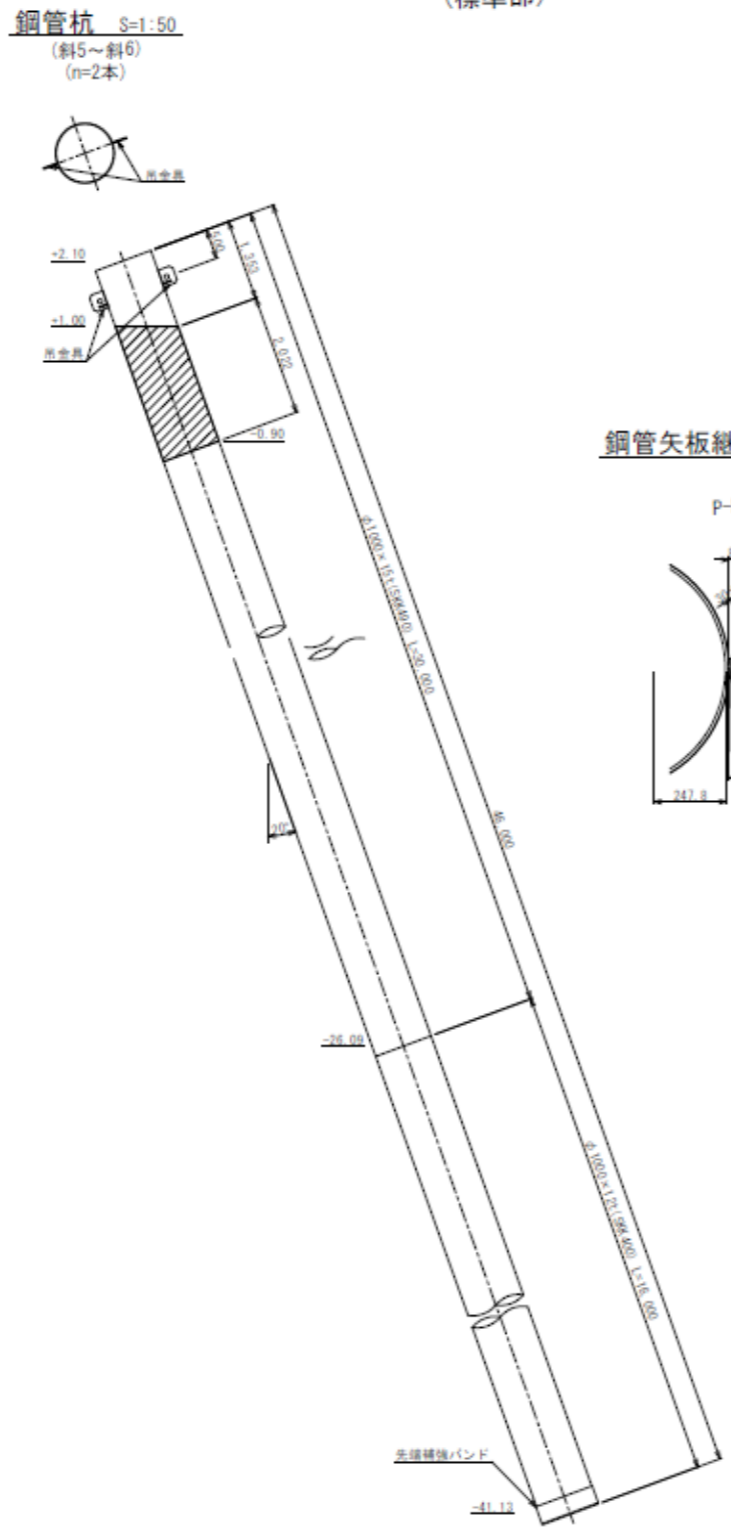
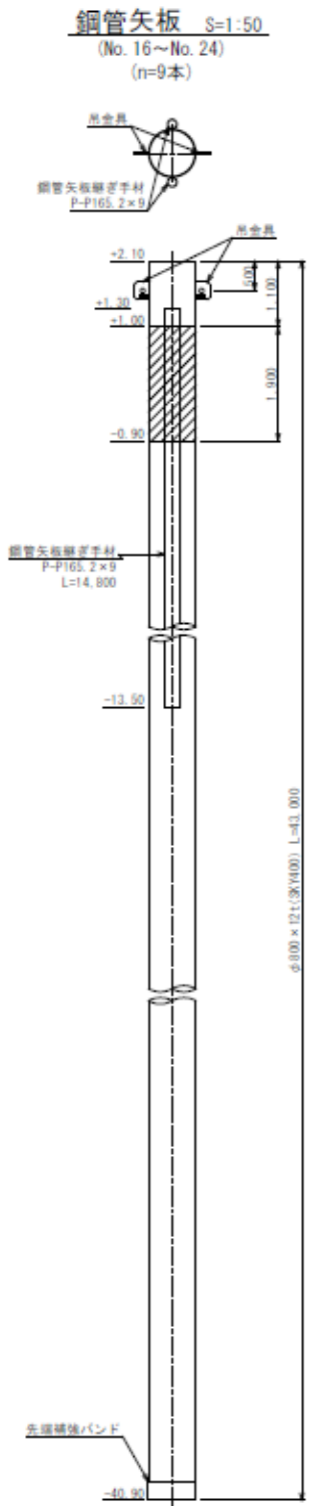
3) 磁気物体調査

本工事における床掘・障害物調査及び障害物撤去の施工に先立ち、調査範囲（別紙図面参照）について、簡易探査機を使用して入念に磁気物体調査（潜水調査）を行うこと。なお、調査範囲については監督職員の承諾を得ること。調査範囲については、床掘の法層から20mとし、水深測量の結果により決定すること。水深測量の結果、探査深度が磁気探査機の有効深度（4m）を超える場合については経層探査を行うこと。本工事施工前の水深測量の結果により調査範囲の変更が生じた場合は、設計変更の対象とする。また、揚取物の処理については監督職員と協議すること。

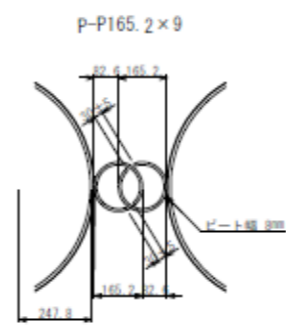
誤

図面

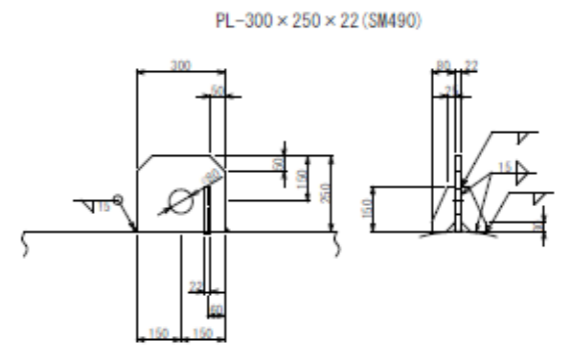
鋼管矢板・鋼管杭製作図(1)  
(標準部)



鋼管矢板継手詳細図 S=1:10



吊金具詳細図 S=1:10



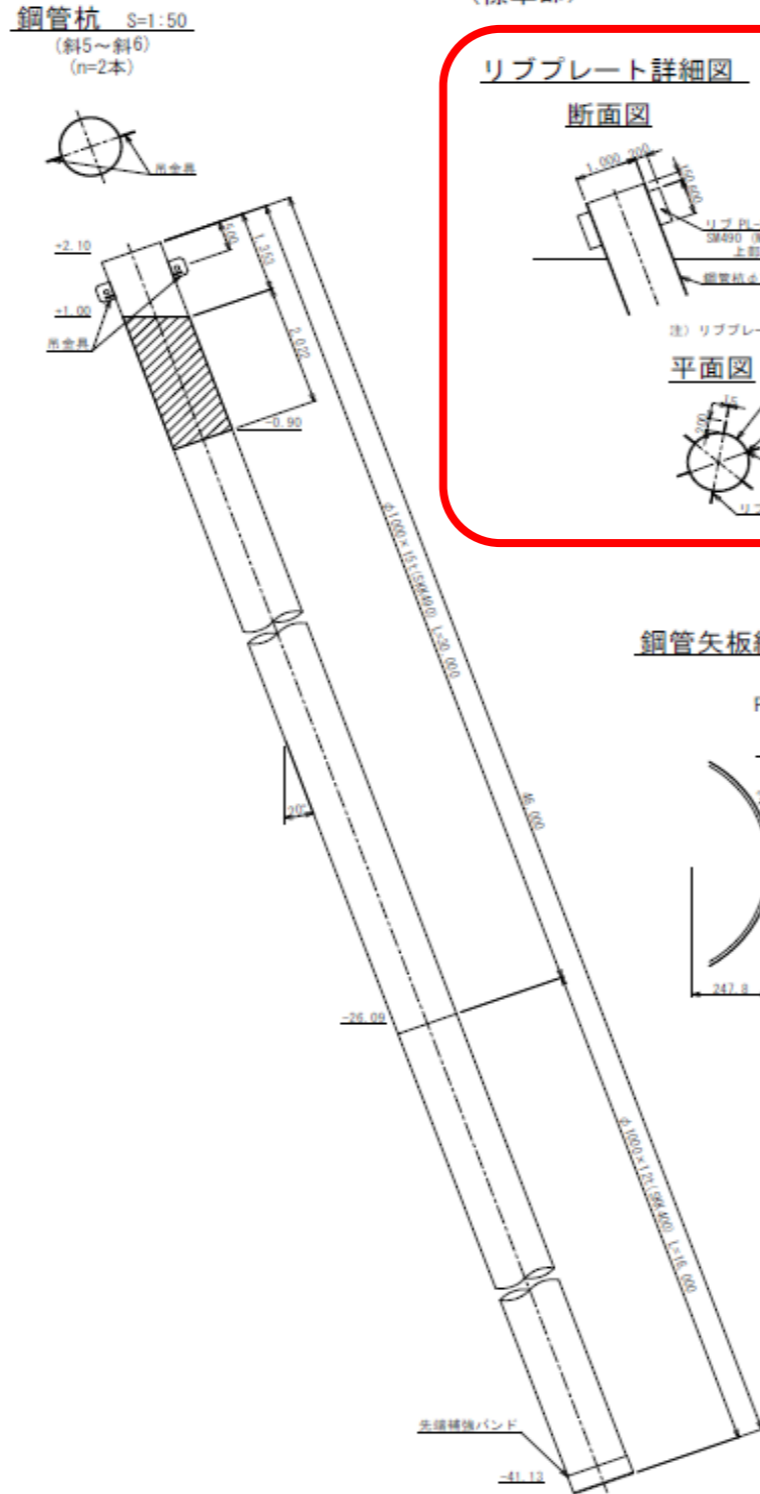
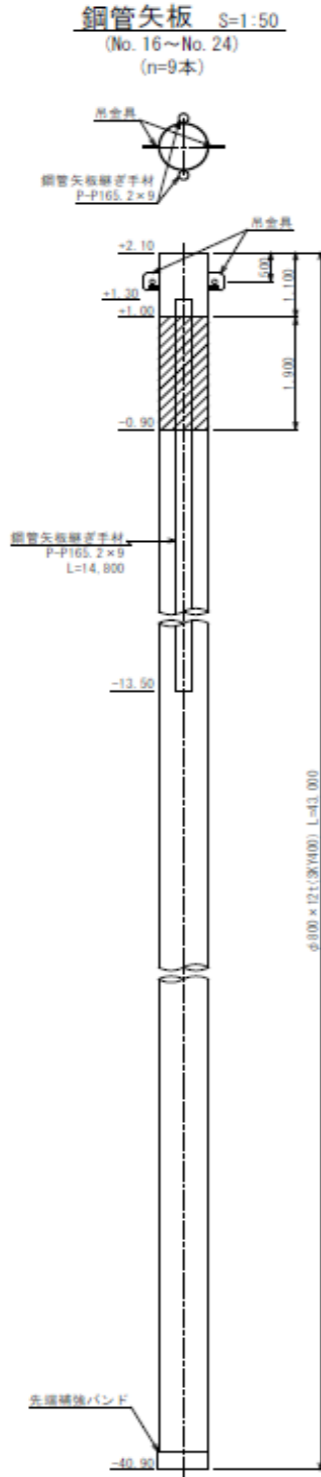
数量表 (標準部 25.228区間)

形状寸法	単位質量 (kg/m)	1本(枚)の質量 (kg/本)	本(枚)数	質量 (kg)	備考
鋼管矢板					
φ800×12t×43,000L	233	10,019	9	90,171	SKY400
合計				90,171	
鋼管杭					
φ1000×16t×30,000L	364	10,920	2	21,840	SKX490
φ1000×12t×16,000L	292	4,672	2	9,344	SKX400
合計				31,184	
補強バンド					
PL-300×2,542×9t	70.65	53.87	9	484.83	SS600
PL-300×3,170×9t	70.65	67.19	2	134.38	SS400
吊り金具					
PL-300×250×22	---	17	22	374	SM490
合計				374	
鋼管矢板継手					
P-P165, 2×9	34.7	512.56	16	8,244	SS400
合計				8,244	
鋼管矢板					
0.80×π×1.90 = 4.73m <sup>2</sup> /本			9	42.07	
1.00×π×2.204 = 6.92m <sup>2</sup> /本			2	13.84	
0.348×1.90×9箇所 = 5.95m <sup>2</sup>				5.95	継手部
合計				62.91	

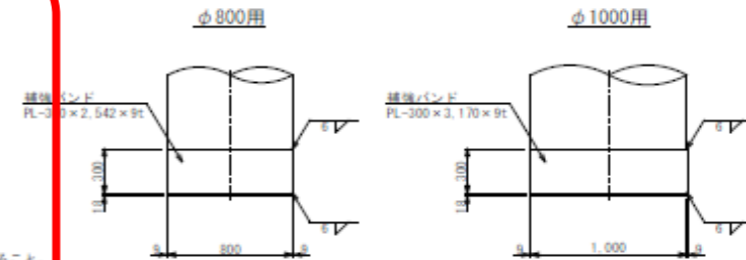
正

図面

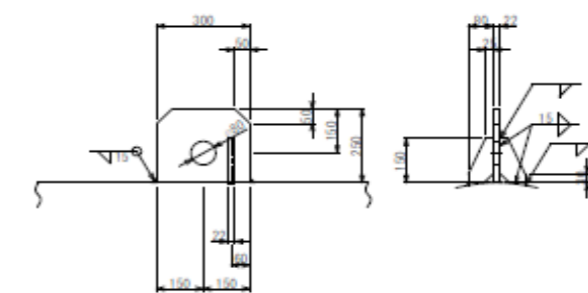
鋼管矢板・鋼管杭製作図(1)  
(標準部)



先端補強バンド詳細図 S=1:20



吊金具詳細図 S=1:10  
PL-300x250x22 (SM490)



数量表

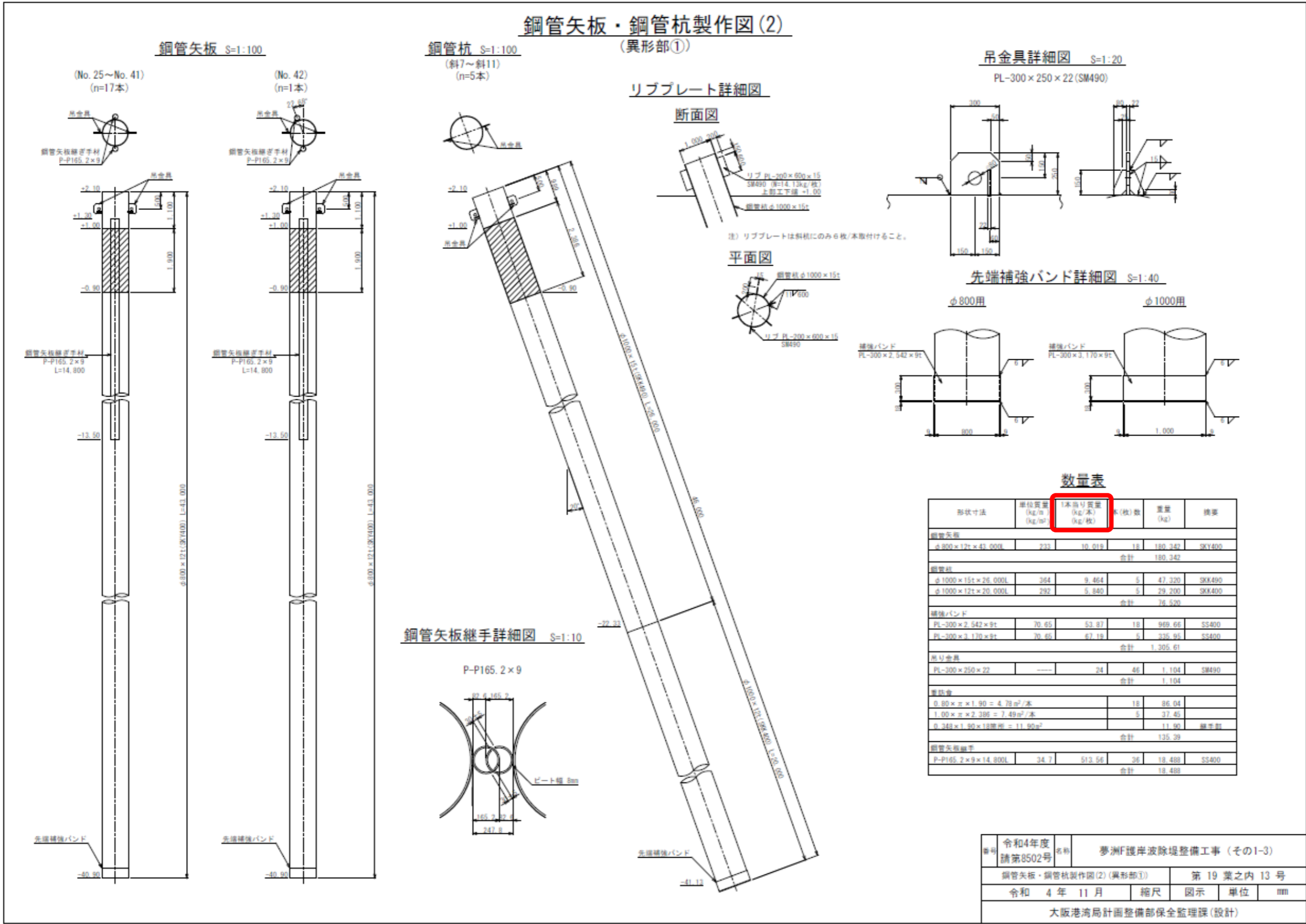
(標準部 25.228区間)

形状寸法	単位質量 (kg/m) (kg/m <sup>2</sup> )	1本(枚)の質量 (kg/本) (kg/枚)	本(枚)数	質量 (kg)	備考
<b>鋼管矢板</b>					
φ800×12t×43,000L	233	10,019	9	90,171	SKY400
			合計	90,171	
<b>鋼管杭</b>					
φ1000×15t×30,000L	364	10,920	2	21,840	SM490
A1000×12t×16,000L	292	4,672	2	9,344	SM490
			合計	31,184	
<b>補強バンド</b>					
PL-300×2,542×9t	70.65	53.87	9	484.83	SS400
PL-300×3,170×9t	70.65	67.19	2	134.38	SS400
			合計	619.21	
<b>吊り金具</b>					
PL-300×250×22	---	---	24	528	SM490
			合計	528	
<b>鋼管杭</b>					
φ800×π×1,90 = 4.78m <sup>2</sup> /本			9	43.02	
1,000×π×2,204 = 6.92m <sup>2</sup> /本			2	13.84	
5,348×1,90×9間隔 = 5.95m <sup>2</sup>				5.95	継手部
			合計	62.81	
<b>鋼管矢板継手</b>					
P-P165.2×9×14,800L	34.7	513.56	18	9,244	SS400
			合計	9,244	
<b>リブプレート</b>					
PL-200×600×15	117.8	14.13	12	169.56	SM490
			合計	169.56	

令和4年度 請第8502号	名称	夢洲F護岸波除堤整備工事 (その1-3)		
鋼管矢板・鋼管杭製作図(1)		第 19 業之内 12 号		
令和 4 年 11 月	縮尺	図示	単位	mm
大阪港湾局計画整備部保全監理課(設計)				

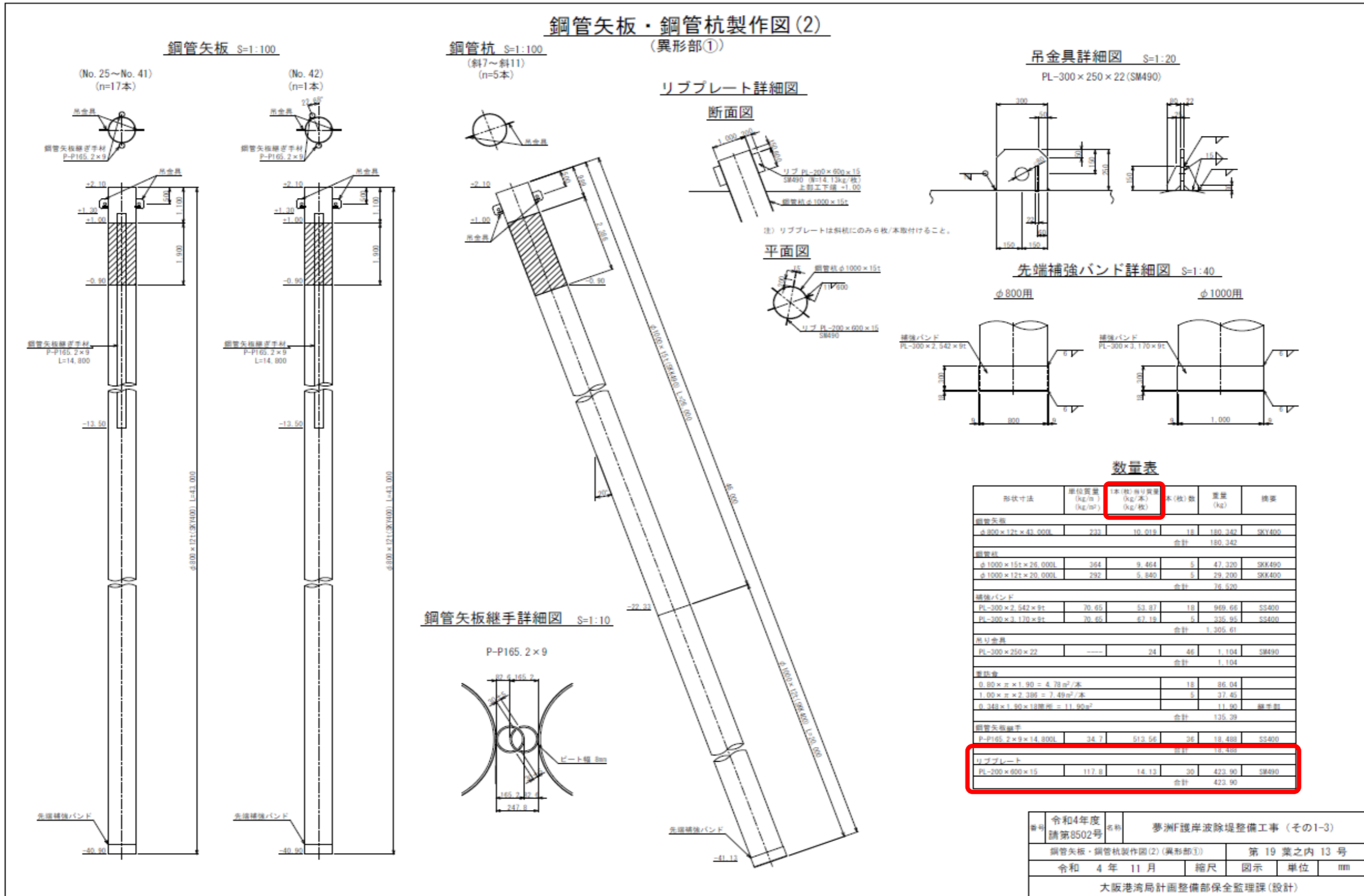
誤

図面



正

図面



番号	令和4年度 請第8502号	名称	夢洲F護岸波除堤整備工事 (その1-3)
鋼管矢板・鋼管杭製作図(2) (異形部①)		第 19 業之内 13 号	
令和	4 年	11 月	縮尺 図示 単位 mm
大阪港湾局計画整備部保全監理課(設計)			

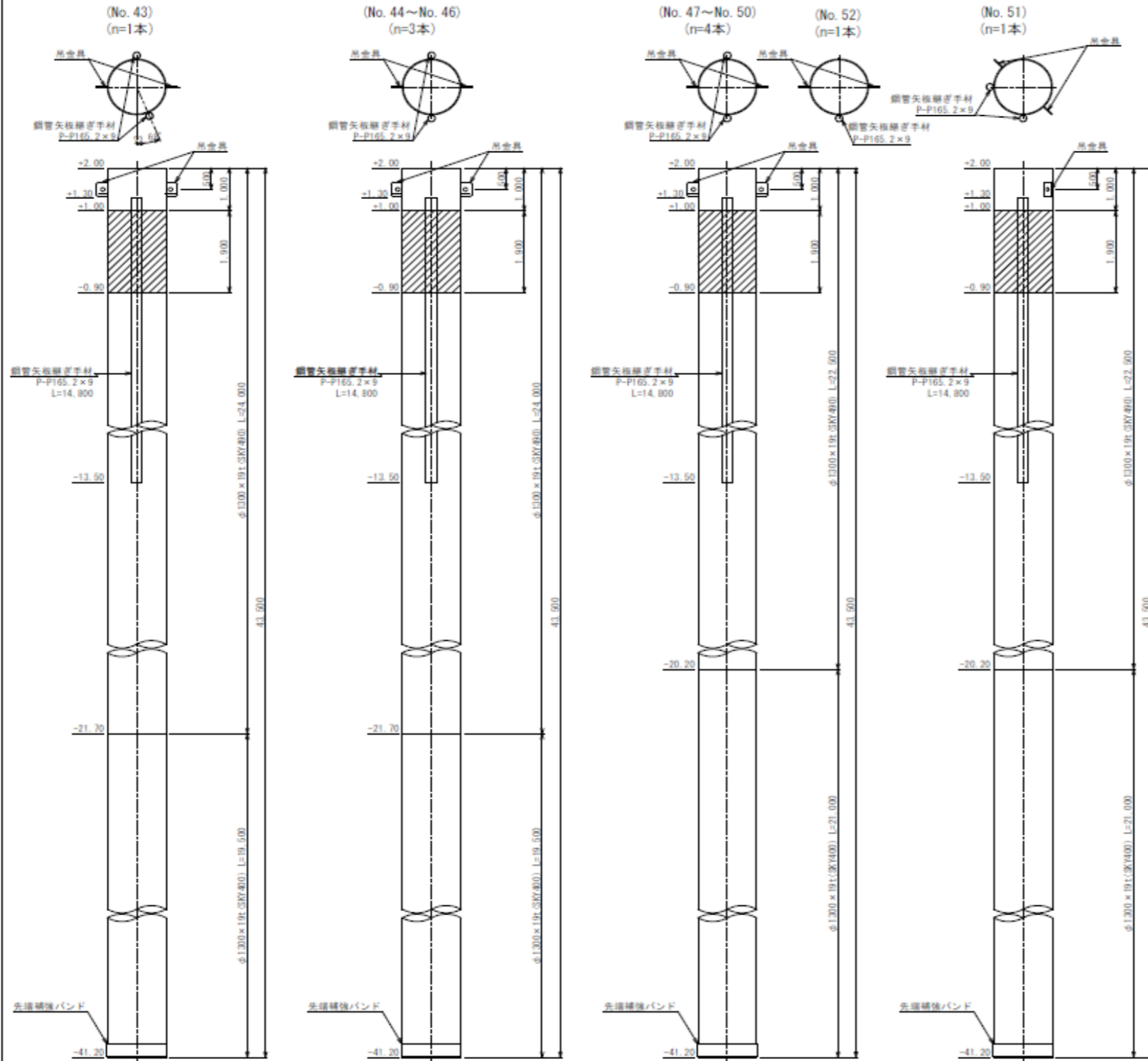
誤

図面

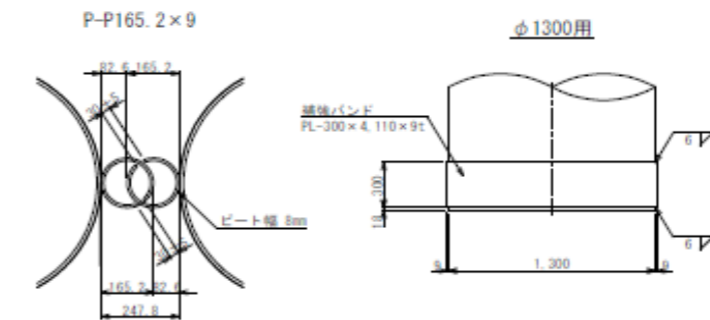
鋼管矢板・鋼管杭製作図(3)  
(異形部②-1、異形部②-2)

鋼管矢板 S=1:100

吊金具詳細図 S=1:20  
PL-350×250×22 (SM490)



鋼管矢板継手詳細図 S=1:20 先端補強バンド詳細図 S=1:40



数量表

形状寸法	単位質量 (kg/m) (kg/m <sup>2</sup> )	1本当り質量 (kg/本) (kg/枚)	本(枚)数	重量 (kg)	換算
<b>鋼管矢板</b>					
φ1300×19t×24,000	600	14,800	4	57,600	SKY490
φ1300×19t×19,500	600	11,700	4	46,800	SKY400
φ1300×19t×22,500	600	13,500	6	81,000	SKY490
φ1300×19t×21,000	600	12,600	6	75,600	SKY490
			合計	261,000	
<b>補強バンド</b>					
PL-300×4,110×9t	70.65	87.11	10	871.1	SS400
			合計	871.1	
<b>吊り金具</b>					
PL-350×250×22	---	---	20	560	SM490
			合計	560	
<b>量取</b>					
1.20×π×1.90 = 7.75 m <sup>2</sup> /本			10	77.50	
0.340×1.90×9.5 = 6.29 m <sup>2</sup>				6.29	量取部
			合計	83.79	
<b>鋼管矢板継手</b>					
P-P165, 2×9×14,800	24.7	513.56	10	9,758	SS400
			合計	9,758	

令和4年度 請第8502号	名称	夢洲F護岸波除堤整備工事 (その1-3)		
鋼管矢板・鋼管杭製作図(3) (異形部②-1、②-2)		第19業之内14号		
令和4年11月	縮尺	図示	単位	mm
大阪港湾局計画整備部保全監視課(設計)				

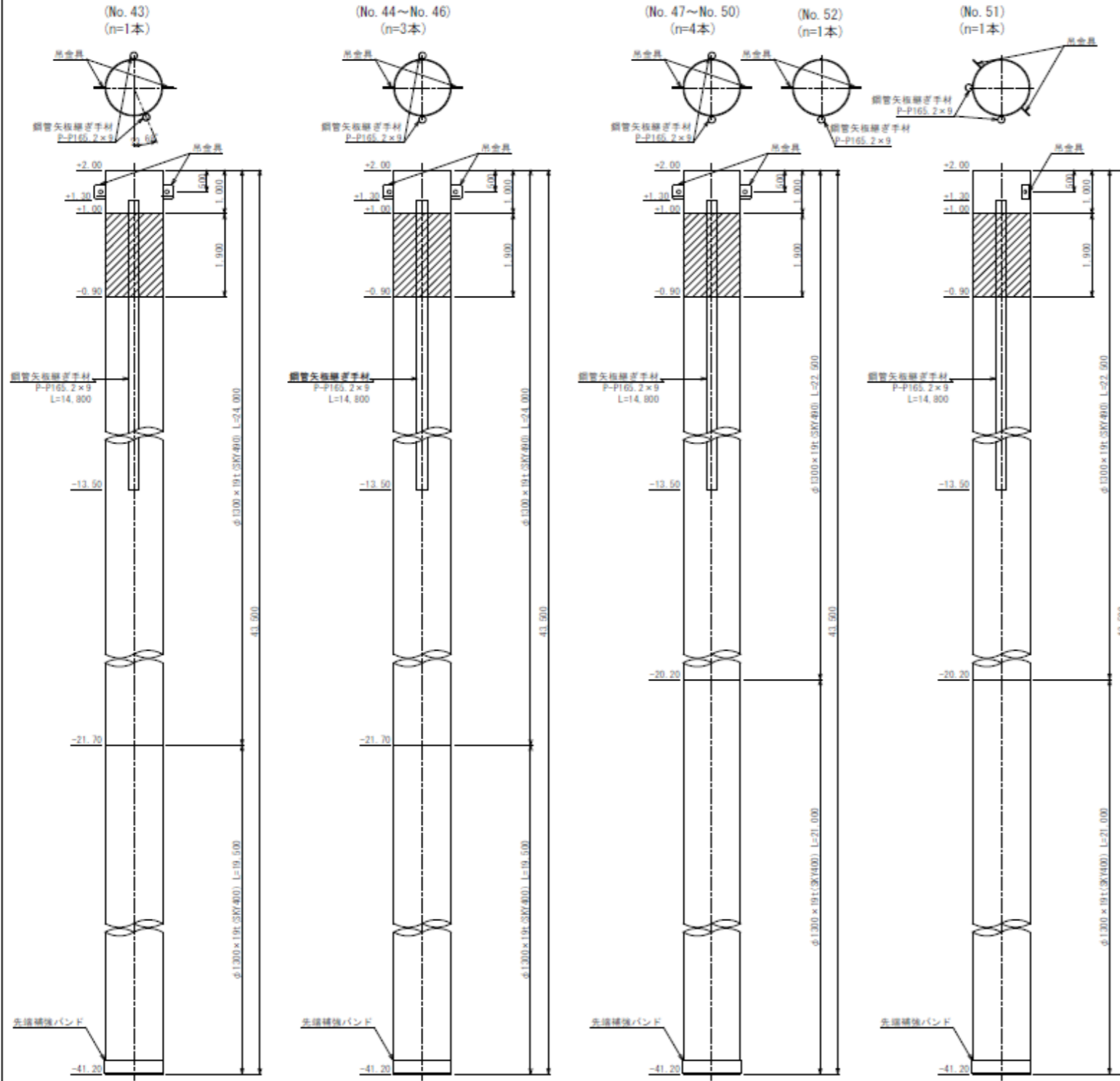


正

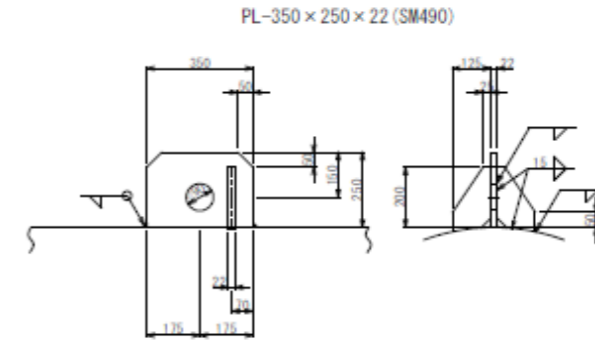
図面

鋼管矢板・鋼管杭製作図(3)  
(異形部②-1、異形部②-2)

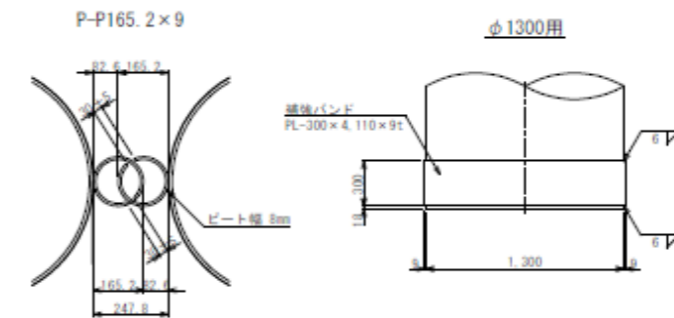
鋼管矢板 S=1:100



吊金具詳細図 S=1:20



鋼管矢板継手詳細図 S=1:20 先端補強バンド詳細図 S=1:40



数量表

形状寸法	単位質量 (kg/m) (kg/m <sup>2</sup> )	本(枚)数 (kg/本) (kg/枚)	本(枚)数	重量 (kg)	備考
<b>鋼管矢板</b>					
φ1300×19t×24,000	600	14,400	4	57,600	SKY490
φ1300×19t×19,500	600	11,700	4	46,800	SKY400
φ1300×19t×22,500	600	13,500	6	81,000	SKY490
φ1300×19t×21,000	600	12,600	6	75,600	SKK490
合計				261,000	
<b>補強バンド</b>					
PL-300×4, 110×9t	70.65	87.11	10	871.1	SS400
合計				871.1	
<b>吊金具</b>					
PL-350×250×22	---	28	20	560	SM490
合計				560	
<b>敷設金</b>					
1.30×π×1.90 = 7.75m <sup>2</sup> /本			10	77.50	
0.280×1.90×9.5 = 5.28m <sup>2</sup>				6.28	敷設金
合計				83.78	
<b>鋼管矢板継手</b>					
P-P165, 2x9×14,800	24.7	512.50	10	9,750	SS400
合計				9,750	

令和4年度 請第8502号	名称	夢洲F護岸波除堤整備工事 (その1-3)	
鋼管矢板・鋼管杭製作図(3) (異形部②-1、②-2)		第 19 業之内 14 号	
令和 4 年 11 月	縮尺	図示	単位 mm
大阪港湾局計画整備部保全監視課(設計)			



# 積算基準関係書類(代価公表資料)

(8502)

## 1位代価表

第 20号代価表

種 別：床掘工

細 別：拘束費

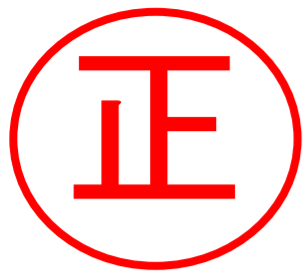
形状寸法：グラブ浚渫船、土運船、引船

1 式 当り

名称	形状寸法*積算要素	単位	数量	単価	金額	摘 要
浚渫船田拘束費	グラブ浚渫船、土運船、引船	式	1			
土運船拘束費	作業付機	式	1			代- 60号
計						
単価						円/式

不

大阪市



# 積算基準関係書類(代価公表資料)

(8502)

## 1位代価表

第 20号代価表

種 別：床掘工

細 別：拘束費

形状寸法：グラブ浚渫船、土運船、引船

1 式 当り

名称	形状寸法*積算要素	単位	数量	単価	金額	補 要
浚渫船拘束費	グラブ浚渫船、土運船、引船	式	1			
土運船拘束費	作業特種	式	1			代-60号
計						
単価						円/式

不

大阪市